

会議録（要旨）

会議名称	第2回阿南市こどもまんなか会議
開催日時	令和7年9月24日(水) 10時30分～11時30分
開催場所	阿南市役所 6階603・604会議室
出席委員 (敬称略)	石塚 賢司、谷 真澄、前川 和広、青木 吏佳、鰐尾 美佐、 木内 啓嗣、仁木 博史、木下 敦志、霜田 泰徳、森田 範子、 高杉 康代、渡部 友子、井本 友子
会議内容	<p>【開会】</p> <p>【議題】</p> <p>1 子ども・若者の意識と生活に関する調査結果</p> <p>委員の意見等</p> <p>【中学2年生アンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問10のどのようなところが居場所になっているのかという設問で、「インターネット」は「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の割合が高くなっている。一方で、問15にある自分が心を許せるような相手がいるかについて、「インターネット」は「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」といった肯定的なものは50%を超えていない。自分の居場所としてインターネット空間をどのように捉えているのか、どのように解釈していいのか、そこが疑問に感じたところである。 ・居場所がインターネット空間であると答えた人が多くなっている。学校と答えた人よりも多い。また、インターネット上の人やグループとの関わり方で「何でも相談できる」や「困ったときには助けてくれる」と言った答えが30%を超えていている。 <p>目に見えない相手に相談し、その中で実際に被害にあってることもあるいる訳で、こういうところに対策が必要ではないかと感じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分にその権利があるという意識がまだ十分にないことがアンケート結果から読み取れる。それに対して意見を伝える場や方法の工夫が必要である。 <p>自分の意見を伝えればどう変わり、どう反映されるのか、その経験というか実感がまだ不十分ではないかと思う。学校や行政の施策のあり方を検討していく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他と比較する中で、阿南市の回答で特徴的なものがあれば教えていただきたい。 ・国の調査結果と徳島県の調査結果と状況を比較したが、その結果、特段突出した傾向というものは見受けられなかった。 <p>一方で、阿南市においても、安心する居場所が家庭や自分の部屋、インター</p>

ネットということで、今後は社会性の寛容のところで、接点が非常に少ないと
いう傾向は全く同様に示していたため、令和5年にこども家庭庁が発足して以
来、国の啓発などがまだ進んでいないという状況がはっきり分かってきたこと
が掴めたところである。

・比較という点で、例えば10年前や20年前とはインターネットやスマートフ
ォンの普及率も大きく違っている。その点で、10年前や20年前のこどもや若
者の居場所はどこだったのか、そういうものが比較できないかどうかと感じ
た。

・居場所について個人的な感覚ですが、10年前は子どもの集まりがあった。特
にやんちゃな子は集まって、そこで問題行動を起こすこともあるが、そこが自
分たちの居場所だった。これが今、ネット社会の中に紛れ込んでしまっている
気がします。

今の時代も心の問題など様々な子どもの問題がなくなった訳ではないので、
絶対心の問題をいっぱい持っていて、それが昔は集まって解消していた部分を
気軽にスマホを出して、その中で抱ってしまっていると感じています。

・居場所と言うよりも心のつながり、心を許せるような人間関係にスポットを
当てた取り組みも必要ではないかなと思う。

2 阿南市こども計画骨子案

委員の意見等

・居場所の整備について、目標の中に入れて、文言としてそれを阿南市が進め
ていくというかたちの意見表明は必要ではないかなと思います。

・若者たちに参画していただくための取り組みについて、阿南市でも「KIZUKI
部」という高校生のボランティア部活団体ができておらず、カフェをお借りして
子ども食堂を開くなど、自分たちで居場所を作っていく取り組みも始まっている
る。

・居場所でちょっと相談できるような仕組みづくりがあつたらいい。集まりの
中で声を吸い上げる仕組みがあり、それぞれ単独でできていて、それをコーデ
ィネートできるようになれば、小さい頃から大人になっても繋げていけるよ
うな仕組みができればと思います。

【課題・基本目標】

・基本目標はこの4項目でいいのか、再度見直しが必要なのではないかと思う。

こども大綱から言いますと、まず子どもの権利を先に持ってくるべき。居場
所と言うのが、例えば、すべての子どもの健やかな育ちという項目を作りまし
て、その中に大きな項目として入れる必要があるのではないか。

また、基本目標2と基本目標4については、どちらかというと子育てに関わ
ることであり、後ろの方に回して、最初にこどもに関する目標を持っていくこ
とが必要ではないかと思う。

基本目標の項目を考え、それに沿った課題をまとめていくという方がわかりやすいのではないかと思います。

この課題の分類と基本目標については、もう少しその整理していただく必要があるかなと思います。

・基本目標1について、子どもたちの成功体験を高めるという上でも、「子ども・若者が意見を表明でき、その意見が尊重され、実現できる環境づくりに努めます」という感じでまとめるのはいかがでしょうか。

・計画の基本的な考え方のところが、どうしても子育てに関して重点的なことになっていると思います。子どもの権利や発達、意見表明と言った子ども大綱に書かれている部分を主に持つて行くべきではないかと思います。

3 その他

(阿南市子ども計画策定スケジュール（案）について)

委員の意見等

質疑なし

【閉会】